

# リストバンド T の印刷方法

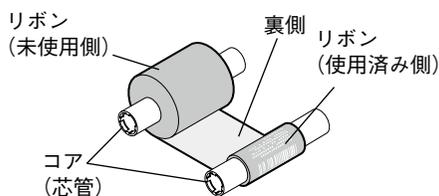
本書ではリストバンドTへの印刷方法について説明します。プリンターの操作および取り扱い注意事項に関する詳細はプリンターに添付のマニュアル等を参照してください。

## ⚠ 注意

- トップカバーは後方へ90度に全開にしてください。中途半端な状態にしておくとお意に下がり、けがの原因となるおそれがあります。
- 印刷直後は、サーマルヘッドおよびその周辺部に手を触れないでください。火傷の原因となるおそれがあります。
- 左右のロックプレートやトップカバー左側の突起部などに手などをぶつけないように注意してください。けがや本体の破損の原因となるおそれがあります。
- トップカバーを開けたときプリンター背面とトップカバーの間に指を挟まないように注意してください。
- インクが皮膚に付着した場合は、石けんを使用し、水洗いをしてください。万が一、目に入った場合は、水で洗い流し眼科医の手当を受けてください。

## 🔑 重要

- リストバンドTをカッターモジュールでカットすることはできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンドTがカッター部でつまったり、カッターモジュールを破損させたりするおそれがあります。
- セット品のリストバンドT用リボンのみ使用することができます。それ以外のリボンを使用した場合は印刷品質の保証はできません。
- リボンには裏と表（インク面）があります（下図を参照）。注意して取り付けてください。逆に取り付けて印刷すると、印刷できないばかりか、サーマルヘッドの交換（有償）が必要になる場合があります。
- 途中まで使用したリボンの未使用側／使用済み側の見分け方は、下図を参照してください。新しいリボンの場合は、径の太い方が未使用側です。
- 使用済みのリボンを廃棄するときは、各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは各自治体へお問い合わせください。



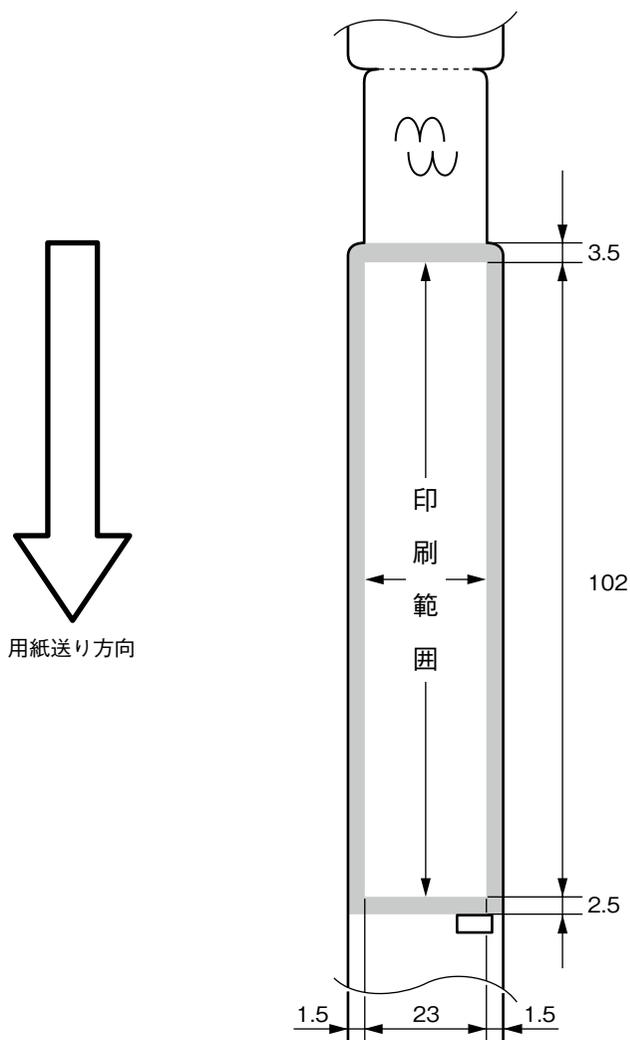
- リボンを使用した後は、リボンに個人情報が残ります。お客様の判断において廃棄してください。リボンに残る印刷内容について、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。
- プリンターを修理に出される際、必ずプリンターからリボンを取り外して修理に出してください。

## ✓ チェック

- リボンからリストバンドTに転写される面積が大きく、濃度が高い場合は、リボンが切れるおそれがあります。特にプリンタードライバーの設定で「ネガイメージ」を選択して印刷する際はご注意ください。
- ご使用になる前に「センサーしきい値を調整する」を参照してセンサーの感度調整を行ってください。

## リストバンド T の印刷範囲

下図において網かけ部（■）に印刷すると、印刷品位が損なわれることがあります。  
印刷のばらつきを考慮して、印刷範囲の内側に余裕を持って印刷してください。  
また事前に印刷して、印刷品位や印刷範囲の確認を行った上でご使用ください。

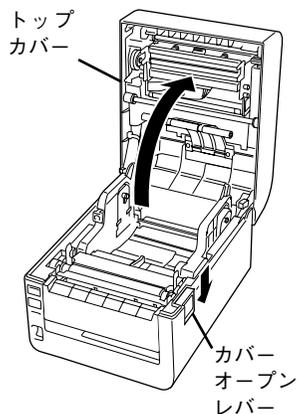


単位：mm

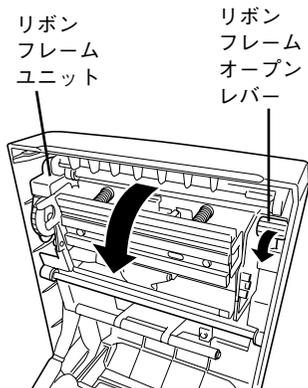
# リボンを取り付ける

① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。

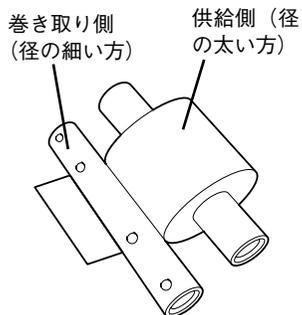
② カバーオープンレバーを押して、トップカバーを開きます。



③ リボンフレームオープンレバーを手前に引いて、リボンフレームユニットを途中まで下げます。

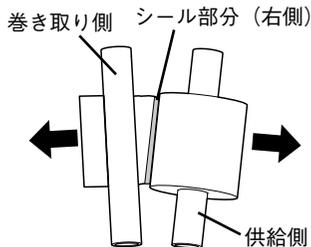


④ リボンを袋から取り出します。

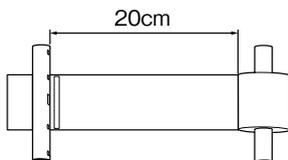


⑤ 両手で供給側のシール部分 (右側) を離します。

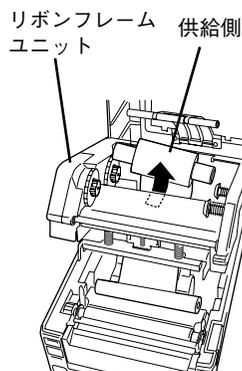
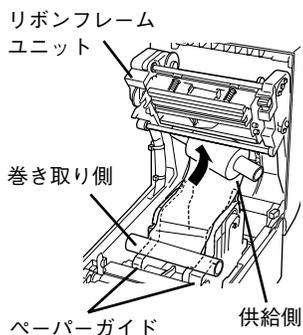
✓**チェック**  
巻き取り側のシール部分は離さないでください。



⑥ 透明な部分を20cm位広げます。

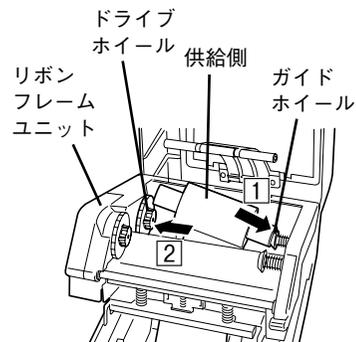


⑦ 巻き取り側をペーパーガイド手前の上に仮置きして、供給側のリボンをリボンフレームユニットの下にくぐらせます。



⑧ 右側のガイドホイールにリボンを取り付けます。

⑨ 左側のドライブホイールにリボンを取り付けます。

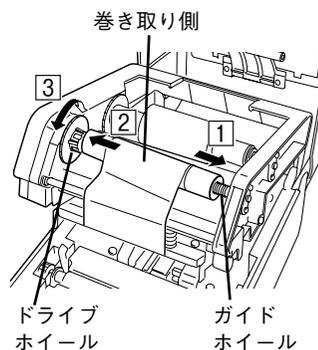


✓**チェック**  
ドライブホイールに入れづらいたときは前後に回しながら入れます。



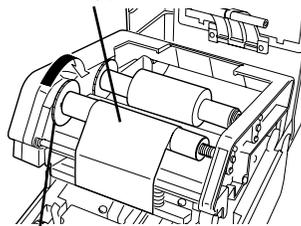
⑩ リボンの巻き取り側をガイドホイールに取り付けた後、ドライブホイールに取り付けます。

前述の「チェック」と同じようにドライブホイールに入れづらいたときは前後に回しながら入れてください。



- ⑪ ドライブホイールをプリンター奥側へ回して印刷できる部分（黒い部分）までリボンを巻き取ります。

巻き取り側

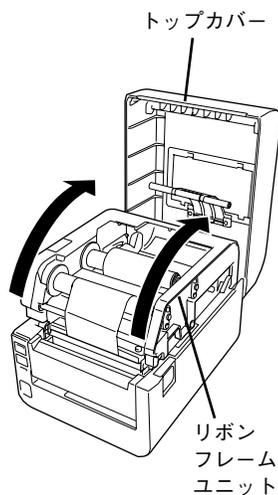


ドライブ  
ホイール

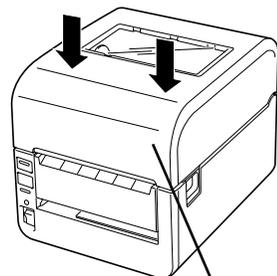
✓チェック

途中まで使用していたリボンを取り付ける場合は、たるみがなくなるまで巻き取ってから使用してください。

- ⑫ リボンフレームユニットをトップカバーにロックします。



- ⑬ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



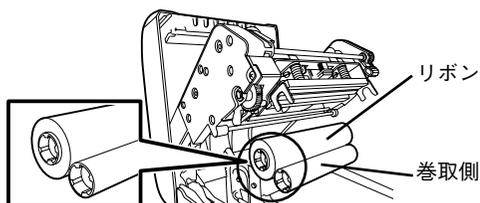
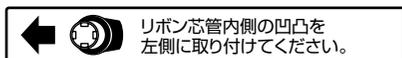
トップカバー

以上で完了です。

✓チェック

リボン取り付けには向きがあります。

リボン芯管端部の凹凸がある方がプリンタの左側（ドライブホイール側）に取り付きますので、ご注意ください。ドライブホイールのそばにリボンの向きを説明するラベルがあります。途中からご使用するリボンにおいても、リボン芯管端部凹凸側がプリンタのドライブホイール側になります。



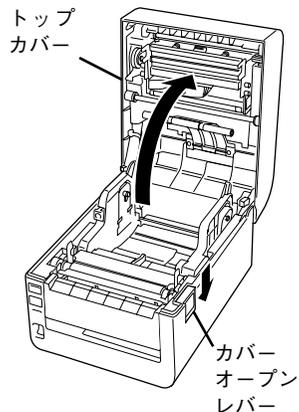
リボン芯管端部凹凸側が左側  
（ドライブホイール側）

# リストバンド T をセットする

## リストバンド T のセット

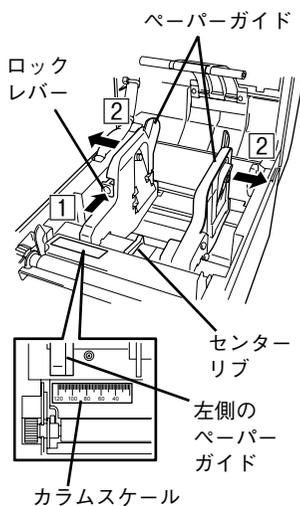
- ① プリンターの電源スイッチを押して電源をONにします。

- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開きます。

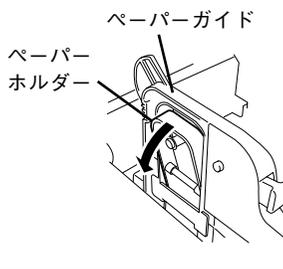


- ③ ロックレバーを押しながらペーパーガイドを広げます。

カラムスケールを参照して、左側のペーパーガイドの内側をセットするリストバンド T の幅と同じ値のメモリに合わせます。左右のガイドは中央にあるセンターリブを基準に両側に伸縮します。



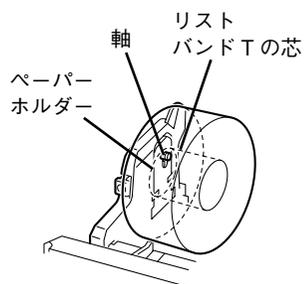
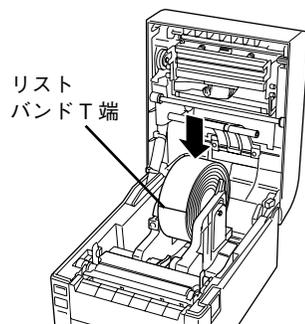
左右のペーパーガイドにあるペーパーホルダーを手で外側に倒します。



- ④ リストバンド T 端が手前側にくるようにしてリストバンド T を持ちます。

- ⑤ リストバンド T をそのまま垂直に下ろしてペーパーホルダーの軸がリストバンド T の芯に入るようにセットします。

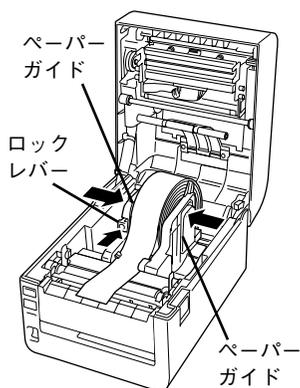
ペーパーホルダーが内側に格納されます。格納されなかったり、軸から外れたりした場合はもう一度やり直してください。



✓**チェック**

〈リストバンドTのロール外径が小さい場合〉  
ペーパーホルダーを外側から押しつけてセットしてください。

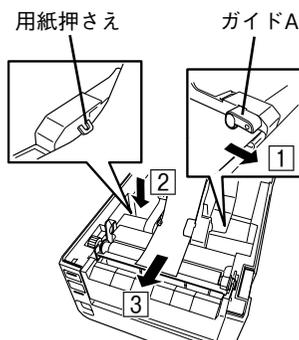
- ⑥ ロックレバーを押しながらペーパーガイド内側とリストバンドTがぴったりと付くように幅を合わせます。



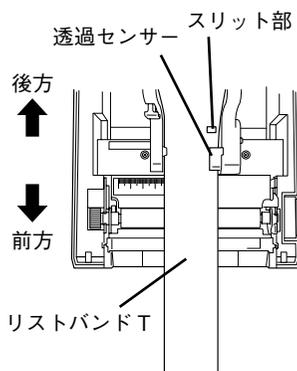
✓**チェック**

リストバンドTが左右のペーパーガイドにぴったりと付いていることを確認します。離れている場合は付くまでやり直してください。付いていないと用紙アラームが発生したり正常に印刷できない場合があります。

- ⑦ リストバンドTをガイドAの下にくぐらせた後(①)、用紙押さえの上からリストバンドTを押して(②)、用紙押さえの下にリストバンドTが通るようにセットします(③)。



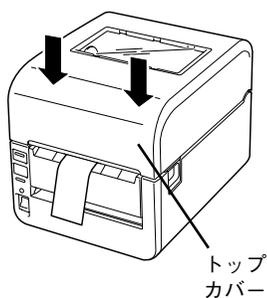
- ⑧ リストバンドTのスリット部が透過センサーの位置より後方になるように位置を調整します。



✓**チェック**

- ・ リストバンドTが透過センサーの下を通っていることを確認してください。透過センサーの上にあると用紙アラームになります。
- ・ スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1枚損失します。

- ⑨ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。



以上でリストバンドTのセットは完了です。

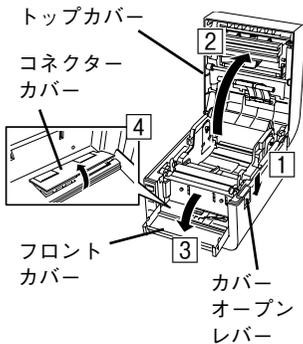
# センサーしきい値を調整する

リストバンドTを印刷する際、印刷位置を一定に保つために透過センサーを使用します。透過センサーによりリストバンドTのスリット部でリストバンドTの頭出し位置を検出します。

ここでは、センサーのしきい値調整をする手順を説明します。

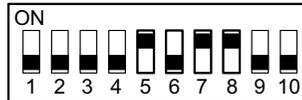
- ① プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認します。

- ② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



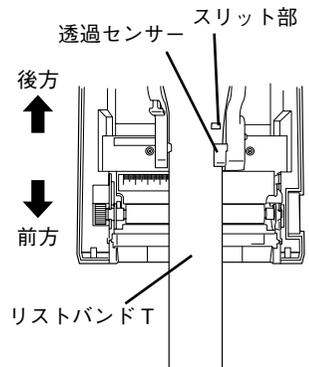
- ③ DIP SWの設定を変更します。

DIP SW8をONにしてプリンタードライバの設定を無効にします。DIP SW3と4をOFFにして連続印刷に設定します。DIP SW5をONにして熱転写方式にします。DIP SW6をOFF、DIP SW7をONにして透過センサーにします。



- ④ リストバンドTをセットします。

リストバンドTのスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。

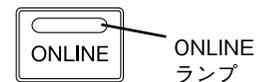


- ⑤ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

- ⑥ プリンターの電源スイッチをONにします。

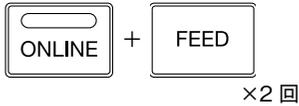
- ⑦ ONLINEスイッチを押してプリンターをオフライン状態にします。

ONLINEランプが消灯した状態です。



- ⑧ ONLINEスイッチを押しながら FEEDスイッチを2回押して調整します。

リストバンドTがフィードされます。フィード中にしきい値が調整されます。

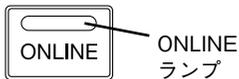


✓チェック

しきい値が設定できなかった場合は、7セグLEDに「E」を表示し、エラーランプが点滅します（ブザーを鳴らす設定をしている場合はブザーも鳴ります）。

- ⑨ フィードが止まったら、ONLINEスイッチを押ししてONLINE状態にします。

ONLINEランプが点灯した状態です。



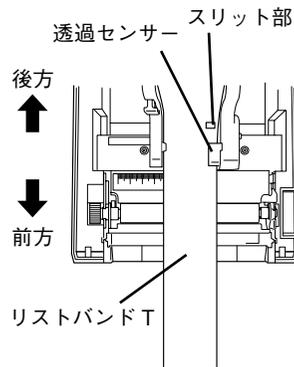
- ⑩ フィードしたリストバンドTを巻き取ります。

電源をONにしたままトップカバーを開きます（ブザーが鳴ります）。その後、リストバンドTを巻き取ります。

リストバンドTを巻き取る際、スリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください。

✓チェック

スリット部を透過センサーより前方へセットした場合は、1枚損失します。



- ⑪ プリンターの電源をOFFにします。

- ⑫ DIP SWの設定を印刷時の設定に戻します。

連続印刷をする場合の設定を9ページで説明しています。

- ⑬ コネクターカバーを取り付けてフロントカバーを閉じた後、トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

以上で設定は完了です。

# 連続印刷でリストバンド T に印刷する

「印刷モード」「印刷方式」「センサー種別」「用紙サイズ」および「印刷濃度」などリストバンド T に印刷するための設定がされているリストバンド T 専用プリンタードライバーを使用してください。

リストバンド T 専用プリンタードライバーは、プリンターに添付の CD-ROM に収録されています。また、NEC コーポレート サイト (<http://jpn.nec.com/printer/label/>) からダウンロードが可能です。

リストバンド T はカッターモジュールでカットできません。カッターモデルやオプションのカッターモジュールでカットしないでください。リストバンド T がカッター部に入り込んだり、カッターモジュールを破損したりするおそれがあります。



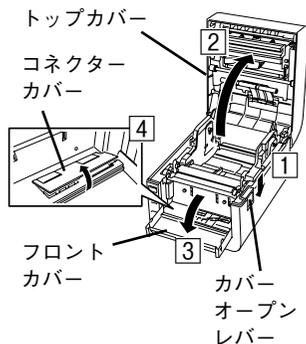
プリンターを動作させる際は必ずリストバンド T をセットしてください。

## プリンタードライバーの設定を有効にする

「印刷モード」「印刷方式」および「センサー種別」について、プリンタードライバーの設定を有効にします。

① 電源を OFF にします。

② カバーオープンレバーを押してトップカバーを開いた後、本体前面のフロントカバーを開き、コネクタカバーを取り外します。



③ DIP SW の設定を確認/変更します。

DIP SW8 を OFF にしてプリンタードライバーの設定を有効にします。DIP SW10 はお使いの環境に合わせて設定してください。



DIP SW10

OFF : インターフェースボード  
ON : USB インターフェース

④ コネクタカバーを取り付けてフロントカバーを閉じます。

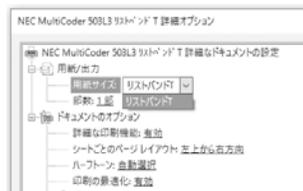
⑤ プリンターの電源スイッチを ON にします。

⑥ リストバンド T をセットします。

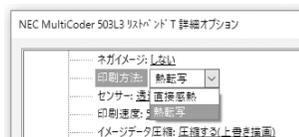
リストバンド T のスリット部が透過センサーの後方に位置するように調整してください (6 ページの手順 ⑧ 参照)。

⑦ トップカバーを両手で「カチッ」と音がするまで押して確実に閉めます。

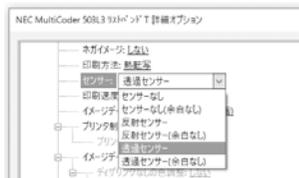
⑧ プリンタードライバーの「用紙サイズ」から「リストバンド T」を選択します。



⑨ プリンタードライバーの「印刷方法」を「熱転写」にします。

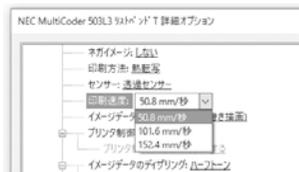


⑩ プリンタードライバーの「センサー」を「透過センサー」にします。



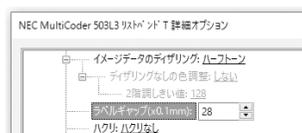
⑪ プリンタードライバーの「印刷速度」を設定します。

推奨設定値は [50.8mm/秒] です。



⑫ ラベルギャップの値を指定します。

ラベルギャップは「28」（2.8mm）に設定します。



⑬ 必要に応じて印刷濃度を設定します。

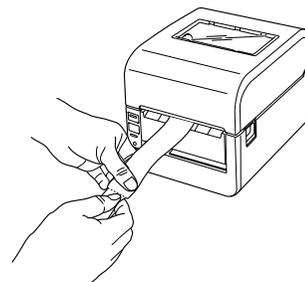
推奨設定値は「7」です。  
設定値はプリンタードライバーでの値と、リモートパネルまたは操作盤の調整ボリュームでの値の合計値です。

〈プリンタードライバーでの設定画面〉



⑭ コンピューターから印刷を行います。

⑮ 両手でミシン目から切り離します。



インクリボンの痕が印刷範囲外につく場合があります。

## リストバンド T の印刷濃度の推奨設定

印刷濃度：「リストバンド T」と「リストバンド T 用リボン」の組み合わせでの推奨設定は「7」です。

印刷濃度はプリンタードライバーで設定することができます（上記⑬）。

- 上記推奨設定は目安であり、リストバンド T の表面加工やご使用条件により一致しない場合があります。十分な試し印刷をして、その印刷結果により印刷濃度の微調整を行ってください。
- 印刷結果がかすれる場合には印刷濃度を＋方向に、つぶれる場合には－方向に微調整を行ってください。
- 印刷速度などの設定値や、印刷パターンの変更により印刷結果が変わることがありますので、そのような場合には再度印刷濃度の微調整を行ってください。